

群馬県立歴史博物館 第19回テーマ展示

「新田猫絵展、再び」のご案内

令和2年3月に開催予定だったテーマ展示「新田猫絵展」を開催します。

本展では「新田猫」とよばれる墨絵の猫を中心に展示します。「新田猫」は、新田岩松氏の歴代当主が4代にわたって描いた猫の絵で、ネズミ除けの効果が高く、養蚕の神様として信仰されました。また、錦絵に見る養蚕の風景、養蚕の守り神とされた各種の資料とあわせて紹介することで、群馬県の養蚕文化の一端に触れる機会とします。この機会にぜひご覧ください。

展示の概要

- 会 期** 開催中（令和3年7月17日（土）～9月5日（日））
開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
※事前予約制（電話または当館ホームページからオンライン予約）
休 館 日 毎週月曜日及び10日 ※8月9日、16日は開館
観 覧 料 一般300円、大高生150円
※中学生以下及び障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

見どころ

養蚕の神様「新田猫」

ネズミ除けの効果が高いと信仰された、新田岩松氏の十八代温純あつずみから
徳純よしずみ、道純みちずみ、俊純としずみまでの歴代当主が、4代（江戸時代末～明治時代）にわたって描いた墨絵の「新田猫」を一堂に展示します。当主によって、猫の描き方に個性が見られます。

錦絵に見る養蚕

養蚕を題材とする錦絵には、ネズミ除けのために飼われていた猫が登場します。蚕とともに暮らした猫の姿が見られます。



新田猫絵 新田徳純
（当館蔵）



新田猫絵 新田道純
（当館蔵）



皇国養蚕図絵（明治18年）幾英
（当館蔵）

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて変更または中止する場合があります。
※取材は随時受け付けますのでご連絡ください。（担当：武藤、原）

【問い合わせ先】群馬県立歴史博物館
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1
TEL.027-346-5522 FAX.027-346-5534



歴史博物館 HP